

02 平成の名古屋市民の森づくり 2014

【日 時】平成 26 年 5 月 17 日（土）10：40～15：00

【場 所】木曾町福島戸立町有林（午前）、王滝村（午後）

【内 容】以下のとおり

名古屋城本丸御殿復元事業には木曾ヒノキが材料として使用されていますが、単に木材を使用するだけでなく、木材の産地で植栽・育樹を行い上流域の豊かな自然環境を将来に残そうと、平成 21 年度から木曾町町有林において名古屋市民による植樹活動が行われており、今回で 6 回目となります。

名古屋市民をはじめ名古屋市職員及び木曾広域連合をはじめとした郡内関係者等合計約 200 名が、上下流交流の一環として植樹作業に参加しました。

開会式では名古屋市副市長及び木曾広域連合長のあいさつのあと、県林業士会のご協力でチェーンソー伐木を行いました。市民の皆さんは、写真撮影をしながら見学され、木が倒れる瞬間驚きの歓声をあげていました。

開会式終了後は 12 の班に分かれ、作業説明を行った後植樹開始となりました。スケジュール的に約 30 分の遅れはあったものの予定通り約 30 分の作業を行い、0.5ha の区域にヒノキや広葉樹の苗約 750 本を植樹しました。植樹作業終了後は、「一般コース」と「とことんコース」の 2 つに分かれました。

一般コースは、王滝村の松原スポーツ公園へ移動し昼食をとり、午後は椎茸の駒打ちやどんぐりパンづくり、森林鉄道の体験乗車、牧尾ダム及び長野県製菓の見学と、一方とことんコースの方には、昼食後引き続き植樹会場で残りの苗木を植えていただきました。

この植樹活動は平成 30 年まで実施の予定ですが、植樹終了後も引き続き名古屋市民の憩いの場として活用できるよう、今後上下流双方でアイディアを出し合ってその方法を検討する予定です。

◎ 当日の様子



参加者の皆さん



開会式典



伐採デモンストレーション



植樹の様子



玉滝村長による村の紹介



森林鉄道体験乗車